

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名		観光地域ブランド確立支援事業		担当部局庁	観光庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		H25～		担当課室	観光地域振興課		課長 七條 牧生			
会計区分		一般会計		施策名	20 観光立国を推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)		観光立国推進基本法 第12条～第14条		関係する計画、 通知等	観光立国推進基本計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		我が国の人口減少が進み、観光客獲得の国際的競争が激化する中、国内外から選好される国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進するため、歴史・伝統・文化等を活かした地域独自の「ブランド」の確立を通じ、日本の顔となる観光地域を創出することで、観光地域づくりの取組の効果を最大限に発揮する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		交流人口拡大による地域の活性化を実現するため、地域独自の「ブランド」の確立を通じた日本の顔となる観光地域の創出に向け、地域の取組段階に応じて以下の支援を実施する。 ①目指すべき地域の将来像の策定、マーケティングの実施等を通じたブランド戦略の構築。(定額) ②ブランド戦略に基づき、来訪者と地域の交流を支える応接環境の整備、地域資源の価値を最大限に活かした空間の形成、取組の恒常的実施・改善を通じたブランド管理等の実施。(1/2補助) また、取組効果を最大限に発揮するため、補助事業について第三者委員会による事前・事後評価等を実施する。								
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		予算の状況	当初予算	-	-	-	-	245		
			補正予算	-	-	-	-			
			繰越し等	-	-	-	-			
			計	-	-	-	-	245		
		執行額	-	-	-	-				
執行率(%)	-	-	-	-						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	目標値 (28年度)	
		126訪日外国人旅行者数		成果実績 達成度	万人					1,800
		127国内観光旅行による国民一人当たり年間宿泊数		成果実績 達成度	泊					2.5
		129国内における観光旅行消費額		成果実績 達成度	兆円					30
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	25年度活動見込	
		観光地域ブランドの確立		活動実績 (当初見込み)	式		()	()	(1)	-
単位当たりコスト		245,000,000(円/一式)		算出根拠	観光地域ブランド確立にかかる経費一式					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	-	576							
	職員旅費	-	6,864							
	委員等旅費	-	660							
	観光振興調査費	-	11,900							
	観光地域ブランド確立支援事業費補助金	-	225,000							
	計	-	245,000							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	「ブランド」の確立を通じて国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進することは、地域経済の活性化や地域における雇用の維持・創出をもたらす社会的ニーズが高いものであり、また、先進的な取り組みであり、かつ、全国レベルの位置付けの中で行われるものであることから、国の関与が必要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	採択前のヒアリングにおいて、取組に必要な経費のみが計上されているか確認するとともに、有識者による第三者委員会により、必要に応じて事業の改善や組替え等を求めた上で採択を行う。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>近年、観光地域は国内外の旅行者獲得競争に晒されており、宿泊数等も減少傾向にあるなど厳しい環境にある。観光地域は、観光地域づくりの理念やその実現のための戦略が十分明確になっていない等により、地域資源の潜在能力を活かしきれておらず、多様な日本の魅力を発揮できていないといえない。そのため、日本を代表する有形・無形の地域資源がある観光地域において、他地域と差別化された価値や魅力を戦略的に創出・提供することにより、日本の顔となる「ブランド」を確立していくことが、国内外から選好される観光地域を形成するために極めて重要である。このため、事業目的達成に向け適正な予算執行を実施する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—	事業所管部局による点検がおおむね適切に行われており、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—